

のがわ



〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

せみ こえ 蝉の声

こうちよう こいずみ きさかず
校長 小泉 昌和

8月27日（木）いよいよ夏休みが終わり、わが野川小学校には久しぶりに全校の児童が集まりました。長い夏休みを過ごし学校に戻ってきた子供たちはそれぞれに貴重な時間を過ごし、一回り大きく成長したように感じました。

さて、8月も後半に入り、朝夕の風が幾分涼しく感じられるようになったものの、まだまだ暑い日が続いております。朝、家を出るときには、まだ、蝉の鳴き声が響いています。じりじりとした暑さに蝉の声。夏の一曲ですね。私が住んでいる家の周りには、木立の多い公園がいくつかあり、その公園の近くを通ると物凄い大音量の蝉の鳴き声が響きます。その鳴き声は、夜まで続くこともしばしば…。蝉が鳴くのは、雄だけです。雄は声を出さない雌も合わせる。と相当の数の蝉がいるのだなと実感しました。

昔、ふとこんなことを考えたことあり、調べたことがあります。

「なぜ蝉は鳴くんだろう??」皆さんは考えたことあるでしょうか。担任をしていたころに、子供たちに聞いてみたところ、「夏だから鳴くんじゃない」と答えが返ってきたことがありました。いつの時代も蝉は夏の象徴なのだと感じています。調べて分かったのは、雄が雌に居場所を教えるためだということです。子供たちには、「蝉は夏だから鳴くんだと思うけど、もう一つ、自分はここにいるよと言っているんだよ」と話したことがあります。

鳴き方の他に鳴いた後の様子についても調べてみました。ミンミンゼミやツクツクボウシは鳴くとすぐに飛び立ちます。アブラゼミやニイニイゼミは、鳴いてもその場に動かないでいるようです。また、鳴く時間帯など、同じ蝉でも種類によって様々な違いがあるようです。

普段、何気なく見ている風景でも注意深く見つめなおしてみたり聞き分けてみたりするなど、五感を働かせて捉えなおしてみると新しい発見がたくさんできるものです。子供たちには、教室でも自分や友達についての新しい発見がたくさんできると良いです。違いを受け入れて、心をいっそう広くしてもらいたいと思います。

我々教職員も「ここにいるよ」と積極的に自己表現する子、声は出さずともじっと注意深く周りを見ている子など、それぞれがその人らしさを発揮しているんだという個の尊重をベースに子供たちと接していきます。

9月は前期のまとめの時期に入ります。学習や生活のまとめをしっかりと行いながら、一人一人の確実な心身の成長につなげていきたいと考えております。

残暑厳しき折ですので、ご健康にご留意いただき、保護者の方々、地域の皆様のみますますのご協力をお願いいたします。